

平成31年1月20日

〒699-1251
雲南市大東町大東2419-1
大東交流センター
TEL (0854)43-2130
E-mail: daito-c@notaru.yoitoko.jp

大東交流センターだより

発行：大東地区自治振興協議会



子どもたちの「夢」を応援します！

『夢発見』野球教室

平成30年12月16日(日) 阪神タイガース 糸原健斗選手をお招きし、
『夢発見』野球教室が雲南市大東公園野球場にて開催されました。



新しいスタートの年になりますように!

大東総合センター所長 中島 豊



新年明けましておめでとうございます。

皆様には、希望に満ちた新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

さて、去年は、地球温暖化の影響なのか、年明けの寒波、夏には記録的な猛暑と異常な気象となりました。災害も多く4月9日の鳥根県西部地震、6月18日の大阪府北部地震、6月28日から7月8日にかけての西日本豪雨災害、9月4日近畿地方を襲った台風21号、9月6日の北海道胆振東部地震等々、日本各地で大きな被害がありました。犠牲になられた皆様のご冥福を心よりお祈りしますとともに、被災地の早期復興を願うところであります。

幸いにも雲南市では大きな被害はありませんでしたが、去年の全国被災地の状況から学ぶべき課題が浮き彫りになったところでは、大東町自治振興協議会では、自主防災組織を立ち上げていただいておりますが、行政と地域とがさらなる連携を図り、一体となった早期避難の意識啓発や避難情報の伝達、避難所運営の体制等の整備を図っていきたいと思いますので、皆様方のより一層のご協力をお願い申し上げます。

また、今年5月7日には、大東総合センターを現在の大東健康福祉センター内に移転開所いたします。現在建物の改修工事を行っていますが、これから駐車場整備も行う予定であり、しばらくの間、周辺の皆様及び周辺施設ご利用の皆様には大変ご迷惑とご不便をおかけします。何卒ご理解とご協力をお願い申し上げます。

現在の大東総合センターの跡地利用につきましては、大東町地域自主組織連絡協議会、大東地区自治振興協議会等から悠々広場の活用を含めた要望を頂いております。この要望を基に整備計画を検討し、しばらくは期間を頂くこととなりますが段階的に整備を実施していきますので、ご理解とご協力を頂きますよう重ねてお願い申し上げます。

最後になりますが、平成最後の年となり、新しい元号を迎える今年が、安心安全で持続可能な地域づくりへの飛躍の年となりますことを、そして地域の皆様のご健勝とご多幸をご祈念いたしまして、年頭のご挨拶といたします。

島根県立大東高等学校

創立百周年記念 校内式典が挙行されました



大正8年に大原郡立農業学校として創立以来100年を迎える大東高校でいろいろ記念事業が取り組まれています。そのメイン行事である記念式典及び記念講演会が昨年10月6日に開催予定でしたが、残念ながら台風接近により中止となりました。しかし、幾多の変遷を経ながら13,000人を越える優れた人材を輩出した大東高校。その創立100年を迎える節目に立ち会う在校生が、これま

での歴史の重みを胸に刻みながら、新たな未来を開いてほしいと、創立百周年記念校内式典が12月21日の2学期終業式にあわせて行なわれました。

中村訓子校長は式辞の中で「大東高校の先人にその生き方を学び、そしてまたいつか、自分が学ばれる存在であるとの自覚をもって次の時代を創ってください」と生徒に呼びかけられ、また、安原重隆創立百周年記念事業実行委員長は「皆さんのこれからの人生にはどんなに頑張っても、どんなに準備をしておいても、思い通りにいかないことが必ずあります。今回の式典中止を教訓として、これからの長い人生を、不運の時にこそしっかりと生き抜いてください」と挨拶されました。そして、生徒代表の岩間はな前期生徒会長からは「100年の歴史を刻んだこの大東高校の伝統をみんなで後世に繋いでいくことを約束します」と力強いことばが述べられました。

式典最後には、部活動外部講師の大倉昭憲様、須山二三子様、武田 豊様、板持裕朗様に感謝状の贈呈がありました。さらに自作の日本画を寄贈された芦田裕昭様には後程贈呈予定です。

なお、池上 彰氏の記念講演会はあらためて5月20日に加茂文化ホール ラメールで開催予定です。





日展入選8回目の郷土画家

平成30年度日展（日本美術展覧会）洋画部門の入選者が昨年10月21日に発表されました。日展は明治40年の文科省美術展覧会（文展）から数えて111回目となる日本最大で最も権威ある公募美術展です。この公募展に出品された藤本雄二さん（南本町）の「ポンプのある一隅」が8回目の入選を果たされました。また、今回節目の10回目の入選となる田部明芳さん（西阿用）はその実力が評価され「会友」の資格が与えられました。

藤本さんは小学生のころから絵を描くことが好きだったようですが、28歳頃から本格的な油絵の世界に挑戦し、独学で感性、表現力を磨いてこられました。毎年県展に出品し、そのたびに入選を果たすなど、若い頃からその才能を開花させてこられました。

—昨年11月に開店された小料理屋「さらい」の一隅に構える新しいアトリエでは、早朝5時ごろからキャンバスに向かい、静物、風景や人物などの創作活動に励んでおられます。

今後さらに、日展「会友」資格を目指すとともに、月1～2回開いている子ども絵画教室を通して、子どもたちの創造力や表現力、発想力を伸ばしてやりたいと年頭の抱負を語っていただきました。



にがおえて
こんにちは!

野仏に見られる風景

阿用 下岡 蓮岡法暁



（絵：大東町東町北 細田 滋）

日本仏教にはたくさんのほとけが登場するが、その中で特に庶民に親しまれ、人気のあるほとけといえば観音菩薩、地蔵菩薩そして不動明王の三尊であろう。この三尊の中でも地蔵菩薩は、童謡、歌謡曲に歌われ、童話に登場した気安く道端にたたずんで、「地蔵さん」と呼ばれ親しまれている。

ここで取り上げるのは、出雲観音霊場三十三番札所参拝いわゆる「出雲札（打ち）」の「札打ち道」（巡拝路）に1丁（109m）ごとに設置された道標のいわゆる「一丁地蔵」である。

私の住む大東町岡村地内には、出雲札所の十三番木次町東日登満福寺から十四番大東町東阿用蓮花寺に通じる札打ち道が通っている。もちろん現在の道路は最近改修された自動車道（県道掛合大東線）であるが、この路傍に旧道から移設された地蔵がたたずんでいる。道は時代とともに変わる。江戸時代の道、明治・大正ごろの道、現在の道と生活の変化とともに変わった。その度に地蔵も移設（多分直近の位置に）された。幸いに地蔵を大事にする人々によって失われることなく正しく丁数順に残っている。

私は2013年（平成25年）から岡村明賀谷地内、西阿用師弟地内の一丁地蔵の調査を行なっている。地蔵には目的地（十四番）までの残丁数（例えば「十四丁」なら後約1.5kmで到着）と地蔵の設置者、施主の名が刻まれている。施主は組であったり個人であったりいろいろであるが、施主の刻字を見ると、どのような思い、願いをかけてこの地蔵が造られたか思い巡らしてみる。

現在も地蔵には、小さな花立が置かれ野の花などが供えられている。地蔵とその前に供えられた花、このおだやかな風景は、はるか昔の人々の地蔵にかけた願いを大切にしている地域の人の心根によって未永く守られていくことであろう。



平成31年 1月末現在の 人口・世帯数 【（）内は対前々月比】	項目	総人口	男性	女性	世帯数	高齢化率
	雲南市	38,479人（▲110人）	18,557人（▲32）	19,922人（▲78人）	13,786世帯（▲3世帯）	38.18%（+0.11%）
	大東町	12,272人（▲29人）	5,981人（▲7人）	6,291人（▲22人）	4,177世帯（+6世帯）	38.07%（+0.17%）
	大東地区	3,588人（+3人）	1,720人（+3人）	1,868人（0人）	1,253世帯（+1世帯）	—

資料：雲南市HPより

まなびの泉



時間が守れる 中学生になります

大東小6年 狩野佑成



ぼくは、今学期時間を守ることをがんばりたいです。理由は、今までは時計を見て行動ができず、授業が始まるチャイムが鳴り終わってから席に着いたり、時々そうじの時間に遅れたりしていたからです。そして、少し遅れて席に着いたときもクラスの友だちを待たせているのに何も言わずに座ろうとしたこともありました。

今年からは、しっかり時計を見て行動し、チャイムが鳴り終わるまでに次の授業の準備をして席に着けるようにしたいです。そして、人を待たせないようにして立派な中学生、大人になりたいです。

今年がんばりたいこと

大東小6年 松本萌々果



私が今年がんばりたいことは、みんなの前でしっかり発表すること、一人でも行動できるようになることです。なぜなら、今は勉強などであまり自分から手を挙げて発表することが少ないから、もっと自分の意見をみんなに伝えて勉強をしたいと思ったからです。また、一人で行動できるようになりたい理由は、みんなで行動すると、人を待ったり待ってもらったりすることで行動がおそくなるから、もっと一人でも行動できる人になりたいです。小学校生活はあと少しだけど、みんなで協力して楽しく終えたいです。

『おみこしワッショイ!!』

～テンテコテンの七夕さん…のおはやしにのせて～

雲南市立大東保育園長 岩田 長子

『大東七夕まつり』は大東の貴重な伝統文化で、7月に入ると誰からともなく「テンテコテンのタナバタさん…」のフレーズが保育園のあちこちで聞かれるようになります。この伝統文化を誇りに思い、より大東に愛着を持つ子ども（ふるさとが好きな子ども）を育てたいと、北町七夕保存会の皆様をお願いして、大東七夕祭りの話（由来）や、スイカ提灯の修理、みこしづくりをお世話になっています。そして、七夕祭り本番の前日にスイカ提灯のみこしを担ぎ、笹飾りを持って保育園～北町公民館を練り歩きます。（今年は猛暑のため、保育園～大東総合センターとコースを短縮しました）この経験がオリジナルの大型みこしの制作につながり、みこしは保育園の夏祭り、運動会、大東よいとこ祭りにも登場しました。

雲南市チャリティー余芸大会へ出演の依頼があった時、これまでの子ども達の活動を振り返り、『子ども達の中に根付いている大東七夕』を雲南市の皆様を知っていただきたいと考えました。

12月2日秋晴れの日、大勢のお客さまの前で、スポットライトを浴びて「テンテコテンのタナバタさん…」のおはやしに載せて園児みこしやスイカ提灯みこしを担いで練り歩き、舞台いっぱい踊る園児たち…。大舞台での発表を楽しんでいる姿を見て、職員も心がいっぱいになりました。当日は日曜日、いるいるとご都合があったにもかかわらず、アスパルまでの送迎、入場券を買って子ども達の雄姿を応援してくださった保護者の皆様に心よりお礼申し上げます。



税に関する習字コンクール知事賞受賞にあたって

大東中学校2年 黒田歩乃佳（駅前）

私はこのコンクールに初めて出品しましたが、島根県知事賞という大きな賞をいただきとても嬉しかったです。この作品を書いている時、なかなか上手く書くことができませんでした。しかし、先生がていねいに指導してくださったおかげで、今回のような良い作品を書くことができました。先生にはとても感謝しています。そして一緒に通っている友達からも祝福の言葉をもらい、とても嬉しかったです。

私がこの習字教室に通い始めたのは小学二年生の頃です。友達が習字でいろいろな賞をとっていることにおこがれを持ち、自分もあんな風になりたいと思ったのがきっかけです。最初の頃は本当に下手で何度も行き詰ま

りましたが、先生の指導のおかげで毎年いろいろな賞をもらうことができました。

授与式では、初めて県知事さんに会いとても緊張しましたが、気さくに話しかけてくださったので、上手く式を行うことができました。

今回のことを励みにこれからもがんばっていきたいと思います。





我が街 春日部市

埼玉県春日部市（北町出身）福本 亨

故郷を離れ52年、齢と共に大東の友、山川を懐かしむようになりました。定年退職後は毎年帰郷するようになりましたが、町内を歩いても人の姿が見えないことに驚きます。また、新しい道路が何本も出来て迷う程です。故郷も時代と共に変遷して行くことを実感致しました。

現在私が住む春日部市は関東平野の真中に位置し、人口23万5千人の田園風景が豊かな所です。我が街には誇れるものが二つあります。一つは日本一の大凧揚げ祭りです。凧の大きさは縦15m、横11m、重量が800kgもあり、毎年新調して5月3日と5日に揚げます。177年の歴史があり、養蚕の豊作を祈念して始まり、今は男の子の出生を祝う祭りになっています。何しろ800kgもあり天空高く舞うことは叶わず、僅か数m浮揚する程度ですが、毎年二日間で13万人以上が来場される勇壮な祭りです。

もう一つは世界に誇る巨大地下神殿「首都圏外郭放水路」です。付近の中小河川の洪水を取込む防災施設で全長6.3kmの地下水路です。付帯する調圧水槽は地下22mに長さ177m、幅78m、高さ18mにも及び、重さ500tの柱59本で天井を支え、まさに地下神殿を思わせます。世界最大級の地下放水路として海外からも注目されています。この施設により埼玉県東部地区の水害が激減致しました。一見の価値があります。

春日部市に住んで37年、老夫婦二人で穏やかに暮らしております。

大東町の発展を心よりお祈りいたします。



日本一の大凧「春日部の大凧あげ祭り」



世界に誇る巨大地下神殿「首都圏外郭放水路」



常勤・非常勤職員を募集します！

(大東地区自治振興協議会)

- ◆ 募集人数：常勤職員（1名）非常勤職員（若干名）
- ◆ 業務内容：事務局業務および地区活動推進、生涯学習推進、地区福祉推進、集落支援、食の自立支援
- ◆ 雇用期間：2019年4月1日～2021年3月31日
- ◆ 提出書類：履歴書、応募動機（500字以内）
- ◆ 申込締切：2019年2月15日（金）
- ◆ 選考方法：書類選考後、面接（平成2019年2月24日：日）により採用者を決定
- ◆ その他：勤務条件等の詳細は、問い合わせください。
- ◆ 問合せ先：大東町大東2419-1 大東地域交流センター内
大東地区自治振興協議会 電話・FAX 43-2130

大東地区振興
あいあい募金
運営委員会

2019年度 『まちづくり活動助成事業』 の募集！！

2010年に開設した「大東地区振興あいあい募金」にこれまでたくさんのご寄付をいただきました。この寄付金を活用した「まちづくり活動助成事業」の助成金申請受付をします。

- ・対象：10名以上の会員を有する大東地区内の活動団体
- ・事業：地域振興に資する事業
- ・金額：5万円以内の助成金
- ・受付：2019年2月12日～2019年4月26日
- ・申込：大東交流センター内
大東地区振興あいあい募金運営委員会
(TEL:43-2130)



郷土の暮らしと文化

與右衛門松伝説

大東の歴史を探る会 蘆田 道昭

大東のなつかしい風景や
人々の生活を写した写真があり
ましたらご提供ください。
(編集委員会)



約百年前の與右衛門松

大東地区の多くの皆さんが與右衛門伝説、與右衛門松由来をご存じと思います。大東大木原と阿用三峠の境にその與右衛門松と呼ばれる大きな松の木があった。

江戸時代初期の17世紀の後半、下阿用の鴨目（今のかもめ保育園付近）に住んでいた與右衛門という百姓が大東の酒屋宗右衛門から金を借りた。大晦日の日に返金したが年末の多忙を理由に証書を返してもらえず借金の形（かた：抵当）として先祖伝来の土地を取り上げられてしまった。どうしても納得のいかない與右衛門はご法度の直訴におよんだため罪人となった。江戸まで逃れるなどしたが望郷の念強く故郷に帰り、本家岩田（下田井中）家に匿われた。しかしこれ以上迷惑をかけてはならないと家を出たが、すぐに捕縛されてしまった。やがて與右衛門は打ち首

の刑に処せられ、首立て場でさらし首となった。

その場所に植えられた4本の松の木は、時を経て大木となり與右衛門松と呼ばれた。明治時代以後、台風などで2本となり、その巨木も昭和38年にはすべて見られなくなった。

現在、その場所にはお堂が建てられ、岩田家をはじめ12戸の皆様が講を結成され毎年9月23日（彼岸の中日）に法要が営まれている。

（鴨目）與右衛門

法名 無量壽院秋誉道喜居士

没年 天和3年（1683年）8月24日

※位牌は上町の祥雲寺にあり、墓石は当該地にある。

なお、大東と三成を結ぶ仁多街道（三成道）は、現在の道路の数メートル上、すなわち野田の墓地の下部付近から、與右衛門松跡地、お堂のすぐ上側を通っていた。現在の道路近辺の字名が「道ノ下」であることの意味が分かる。



なんば けんじ
南波 謙二さん（大木原）

還暦を来年迎える若さ？で既に自治会長を2度も経験、自治会のみならず町内でも若手グループのリーダー的存在であり人望も厚い。県内を東奔西走、超多忙な南波謙二さんを訪ねました。

Q 毎年正月の「門松」を作って自治会内の方に提供されているようですが？

平成24年、始めて自治会長の大役を引き受けた年に自治会活動の一環として三二門松作り講師の指導を受けました。爾来、新年を迎えるにあたり正月気分が味わえる形あるものをと毎年作るようになりました。今では、自治会内外からの依頼があり、30代40代の友人2人と私の3人で概ね一週間程度かけて60個以上作ります。形や色、そして材料の配置バランスが難しいですね。

Q 材料等準備するのも大変と思いますが？

そうですね、最近は大量の材料が必要となり、所望の材料を集めるため仁多や塩田方面からも無償で提供して頂いており、大変ありがたく感謝しています。全部自分たちで採取していますが、大きな孟宗竹の切り出し等は大変です。



今年の大木原とんど祭りでは天狗面をかぶり、地区内の無病息災、五穀豊穡、商売繁盛を祈念して家々を回られました。先頭に立って地域を盛り上げる姿。今後も期待が膨らみます。



あいあい募金

ご寄付に
感謝致します

事務局 TEL.43-2130

- ・大東町（織 部）遠藤 茂雄 様（香典返し）
- ・大東町（新庄南）福間 均 様（香典返し）
- ・大東町（金成上）藤原 敏正 様（香典返し）
- ・金成上町間道路改良促進協議会 様（一般寄付）
- ・大東町（織 部）小山 益男 様（香典返し）

皆様からお寄せいただいたご寄付は地域の絆を深め、支えあう活動に対する補助金等に活用させていただいております。